



## 国際薬剤疫学会（ISPE）会費減額措置について（お知らせ）

本学会（日本薬剤疫学会、JSPE）の会員のうち希望される方については、年間275ドルのISPE年会費を50ドル引きの年間225ドルでISPE会員になることが可能です。日本薬剤疫学会を通じた国際薬剤疫学会会員登録のメリットについては、日本薬剤疫学会ホームページ <http://www.jspe.jp/education/files/infojspeispe20180907> をご覧ください。

為替レートの変動に対しては、日本側でのISPE会費集めに先だって米ドルとの交換レートを合意・固定し、集めた会費を送金時の為替レートでISPEに送ることが合意されており、2019年度（2019年7月から2020年6月）の会費については1米ドル=112円とする合意がISPEとの間で2018年9月6日に成立しました。

したがって、年会費225ドルは25,200円ですが、送金手数料（USA国内150ドル+日本国内4,500円）の一部負担を含め、26,000円と設定させていただきます。

ISPE年会費減額措置をご希望の方は、日本薬剤疫学会年会費納入依頼に同封した「払込取扱票」を使用して、郵便局から日本薬剤疫学会の年会費と2019年度ISPE年会費26,000円（手数料含む）の合計をお支払いの上、2018年12月31日までに「ISPE会費減額措置申込用紙」を事務局までお送りください。

申込み並びに会費は、2018年10月13日、14日に開催される日本薬剤疫学会第24回学術総会会場でも受け付けています。

ISPEにおいて入会の手続きが終了後、会員の資格が発生する2019年7月1日までのいずれかの時点で入会手続きが行われますが、その手続き完了後、新会員についてはISPEよりIDとパスワードが、申込時に記載いただいたメールアドレス宛に送られます。

なお、ISPE会員はWebを通じて、会誌Pharmacoepidemiology and Drug Safety (PDS)のPDFを利用できます。プリント版のPDSをご希望の方は、ISPE年会費減額措置とは別にご自分でお申込みいただきますようお願い申し上げます。

また、国際薬剤疫学会年次総会（ICPE）参加の割引につきましては、その都度取り決めがなされますので、必ずしも割引があるとは限らないこと、ご了承ください。

以上